

速報であり、数値等は今後変わることがある。

6月27日梅雨前線豪雨による被害状況と湯沢砂防事務所の対応 (第1報)

1. 湯沢砂防事務所の体制

湯沢砂防事務所は、平成17年6月27日からの豪雨に対し、6月28日午前4時40分に警戒態勢を発令して警戒に当たっています。事務所等において、モニターカメラ画像や雨量計や水位計等の観測計器等により監視を続けています。

2. 芋川流域・東竹沢地区の状況について

< 仮排水路 >

昨年12月に東竹沢地区の仮排水路が完成して以来、初めて芋川流域にまとまった降雨（東竹沢において28日13時00分現在の累計雨量207mm）が続いています。仮排水路は効果を十分に発揮し安全に上流からの流水を流下させています。河道閉塞を生じさせた地すべりや仮排水路には変状はみられていません。

なお、水路右岸部斜面で、雨水からの侵食防止のためモルタル吹き付けした箇所の一部で、28日7時頃、降雨の影響によって漏水が見られました。現時点では、漏水は止まっており、漏水箇所の拡大等は見られていません。

現在、原因を調査中であり、降雨がおさまり次第、補修及び対策を早急を実施することとしています。

< 工事中道路 >

工事中道路の一部において、沢筋からの流水によって削られて路肩が崩壊した箇所が認められます。また、斜面上部から崩壊土砂が崩落し、工事中道路に堆積している箇所も認められます。

3. 芋川流域・寺野地区の状況について

モニターカメラ画像や雨量計や水位計等の観測計器等により監視を続けていますが、現時点では異常は認められません。

4. 今後の対応

降雨状況、被害状況の把握に努めるとともに、天候が回復次第、早急に対策を実施します。

【問い合わせ先】

北陸地方整備局湯沢砂防事務所

副所長（技術） 本白 茂 025-784-2263（代）